

「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案(略案)例

本時案作成に当たって

- 小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック
平成29年6月 文部科学省
 - 小学校学習指導要領解説（外国語活動・外国語編）
 - 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」
令和2年3月 国立教育政策研究所教育課程研究センター
 - 小学校外国語新教材 学習指導案例
 - 新大分スタンダードのすすめ
「新大分スタンダード」で主体的・対話的で深い学びの実現を
平成30年3月(第2版) 大分県教育委員会
- 上記の資料等参照の上、作成して下さい。

①学年・組	②職名・授業者氏名	③教科	④ペアでの 話し合い活動	⑤グループでの 話し合い活動
3年1組	教諭 日田 梨子	外国語 活動	有 <input checked="" type="radio"/> ・ 無 <input type="radio"/>	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
⑥単元名(題材名)	【Unit 4】 I like blue. すきなものをつたえよう (1/4時間)			
⑦本時のねらい	色を表す英語を 絵や身の回りのものについての話を聞いたり応答したりすることを繰り返して 日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、色の言い方に慣れ親しむことができるようにする。			
⑧本時の評価規準	【知識・技能(聞くこと)】 ○絵や身の回りにあるものの色についての話を聞いて意味が分かっている。〈行動観察・ 振り返りカード〉			
⑨ 展開	「めあて」	いろいろな色を英語で言ってみよう。		
	「課題」 ↓ 「手立て」 ↓ 「まとめ」	「努力を要する状況」の児童への手立て 児童は色の英語表現がわからないとき、実物を相手に示しながら質問をしたり応えたりする。 指導者は、Yes/Noでリアクションができるような質問をする。		
		「特別な支援等の配慮を要する」児童への手立て 音声を聞き取ることが苦手な児童に対して、手を上下に動かして音の強弱を表す。		
		「振り返り」		
	むらさきを英語でパープルと言うことがわかった。 レッドの言い方が今までの言い方と違っていた。 今日は青い服を着ている人が多かった。 等			

○ねらいは、適切かつ明確に。
・「新大分スタンダードのすすめ」を参考に記入。
A: 学習内容(追究対象)、B: 学習活動(手立て)、C: 育成を目指す資質・能力

○評価規準とねらいが対応するように。
・1時間の評価規準を焦点化する。
・本時の付けたい力を明確にする。【 】で評価の観点を記入。
評価の観点については、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料」を参照
・児童生徒の到達状況を何で把握するのか。〈 〉で記入。

○展開について
(1)「めあて」は、「活動のゴールの姿」や「ゴールとそれまでの道筋」を設定。
(2)「振り返り」は、「めあて」に対する振り返り。1時間のねらいが達成できたか、児童生徒のわかった、
できた状況を把握する。成果の実感や次時への意欲・問題意識等も踏まえる。
※「課題」「まとめ」を設定する場合もある。
(5)「手立て」は、単なる机間指導や教え合いではなく、思考の手助けとなるものを、児童生徒のつまづ
き等を予想して準備する。(既習事項や具体物など)

◇板書計画(例)
○板書の構造化
※何をどのように学んだのかわかる、児童が振り返ることができる板書になっていることが重要。
・「めあて」「振り返り」「課題」「まとめ」を位置づける。

板書計画

Today's Goal: いろいろな色を英語で言ってみよう。

Today's menu Rainbow Watch & think Game Small Talk Listen Chant Looking back	虹	色カード	色カード	My favorite color
	虹	色カード	色カード	
		色カード	色カード	Looking back
		色カード	色カード	